

設計監理と施工

「分離せず」指摘

建築家協会支部集会

姉齒建築設計事務所による耐震データ偽造問題を受け、社団法人日本建築家協会近畿支部（出江寛支部長、会員776人）は8日、大阪市中央区内で緊急集会を開いた。建築業務の中で設計監理と施工が分離してなく、あ

いまいになっていることが背景にあるとして、改善策を探るワーキンググループを設置することを決めた。今後、国にも提言していく方針。

約60人が参加。設計監理者が大手ゼネコンの下請けとして独立性を保てないことや、民間審査機関に行政からの天下りが多いことなどの問題点が指摘された。【大場弘行】